



2024年度 環境経営レポート

(対象期間 : 2024年8月1日～2025年7月31日)



株式会社 村田組

発行日:2025年9月22日

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 村田組 代表取締役 村田 燐男

(2) 所在地

本 社：兵庫県伊丹市西台 2-7-2

神戸支店：兵庫県神戸市東灘区本山中町 2-6-20

リアライズ本山 305 号

(2025 年 7 月 31 日閉鎖)

大阪支店：大阪市淀川区西中島 3-11-26

Aurora ビル新大阪 508 号

資材事務所：兵庫県伊丹市桑津 3 丁目 217-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部主任 樽井 竜二

環境管理担当者 総務部主任 樽井 竜二

連絡先：TEL 072-777-7788 FAX 072-777-7787

(4) 認証・登録範囲

事業活動内容：土木工事業（土木一式工事、橋梁補修・補強工事）

対象事業所：本社、神戸支店（2025 年 7 月 31 日閉鎖）、大阪支店、資材事務所

(5) 事業規模

年間売上高 1,118 百万円（2024/8 ～2025/7）

	本社	神戸支店	大阪支店	資材事務所	合計
総従業員 2025. 4. 1 現在	22 人	(無人) 本社と兼務	(無人) 本社と兼務	無人	22 人
延べ床面積	206.4 m ²	17.9 m ²	21 m ²	44 m ²	289.3 m ²
敷地面積	170.7 m ²	127.8 m ²	21 m ²	603 m ²	922.5 m ²

(6) 建設現場等の概要 (2024/8～2025/7)

元請工事 0 件

下請工事 22 件

(7) 事業年度 8 月～翌年 7 月

2. 主な環境負荷の実績

項 目	単 位	環境負荷の実績		
		2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素	kg-CO ₂	69,604 (0. 334kg-CO ₂ /kWh) 関西電力2018年調整後	72,032 (0. 334kg-CO ₂ /kWh) 関西電力2018年調整後	69,306 (0. 334kg-CO ₂ /kWh) 関西電力2018年調整後
廃棄物排出量	トン	13.232	25.493	12.157
一般廃棄物	トン	0.462	0.463	0.457
産業廃棄物	トン	12.77	25.03	11.7
水使用量	m ³	176	179	179

3. 環境経営方針

株式会社 村田組 環境経営方針

株式会社 村田組は地球環境の保全を最重要課題のひとつである事を認識し、環境負荷の低減に積極的に努め、「自然環境との調和、地域社会への貢献」を創造する新しい建設事業を目指します。

1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 排水量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
2. 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - (1) 環境に配慮した技術の導入、提案、施工
3. 関係する環境法規等及び地域社会との協調を遵守します。
4. 環境経営システムの継続的改善を図ります。
5. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2015 年 5 月 1 日

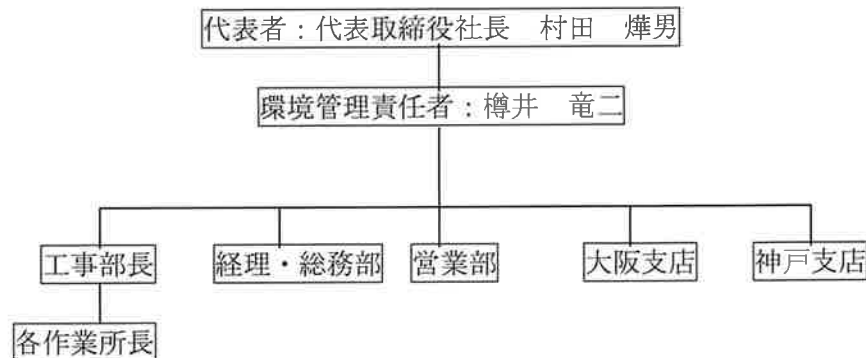
改訂日：2020 年 8 月 1 日

株式会社 村田組

代表取締役 村田燁男

4. 推進組織図

【株式会社 村田組 環境経営システム推進組織図】



【適用範囲】

株式会社 村田組本社、神戸支店（2025 年 7 月 31 日閉鎖）、大阪支店、資材事務所、及び建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ。 ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる。 ③資源（人・もの・金）の用意をする。 ④エコアクション 21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。 ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する。 ⑥環境経営計画を承認する。 ⑦環境経営レポートを承認する。
環境管理責任者 (兼環境事務局担当)	①エコアクション 21 建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる。 ②上記の結果を社長に報告する。 ③EA21 文書類の作成・承認をする。（E A 審査対応を含む） ④環境委員会の委員長として EMS 全般の舵取りを行い、実行を推進する。 ⑤環境コミュニケーションの連絡窓口を担当する。 ⑥環境経営レポートを作成する。
部門長及び 全従業員	①自部門の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 ③自部門に関連する法規制等を順守する。 ④自部門の教育・訓練を実施する。 ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする。 ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。
作業所長	①作業所における EA21 実行責任者を兼ねる。 ②作業所の環境経営目標、活動経営計画の達成と実績の把握を行う。ほか

5. 環境経営目標とその実績

当社における環境経営目標とその実績は以下のとおりです。

No	環境経営目標		基準年度	2024年度（2024年8月～2025年7月）			2025年度	2026年度
			20～22平均値	目標	実績	（達成率）	目標	目標
1	二酸化炭素排出量の削減	電気使用量 （※2）	7,014 kg-CO2 21,000 kWh	6,874 20,580	6,351 19,015	108%	6,804 20,370 ▲3%	6,804 20,370 ▲3%
2		ガソリン使用量	39,440 kg-CO2 17,000 ℓ	38,651 16,660	38,605 16,640	100%	38,257 16,490 ▲3%	38,257 16,490 ▲3%
3		軽油使用量	25,026 kg-CO2 9,700 ℓ	24,525 9,506	24,350 9,438	100%	24,275 9,409 ▲3%	24,275 9,409 ▲3%
	二酸化炭素排出量の合計 （※参考値）		—	—	69,306 kg-CO2	—	—	—
4	事務所の水使用量の削減		190 m3	186	179	104%	184 ▲3%	184 ▲3%
5	産業廃棄物 リサイクル率 コンガラ・アスガラを除く（※3）		23 %	25.0	23.3	93%	26 +3%	26 +3%
6	一般廃棄物排出量の削減		0.470 t	0.460	0.457	100%	0.456 ▲3%	0.456 ▲3%
7	環境に配慮した技術の導入		3 件	3	4	100%	3件 —	3件 —
8	地域清掃等の社会貢献活動		年3 回	3	4	100%	3回 —	3回 —

※1 化学物質は使用しない為、目標設定を行っておりません。

※2 電力の二酸化炭素係数:0.334kg-CO2/kWh

※3 産業廃棄物のリサイクル向上 再生量(2.73t)÷発生量(11.7t) = 23.3%

※今期はコンガラ・アスガラの発生はありませんでした。

6. 各環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

NO	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画の概要	取組結果の評価 2024年8月1日～2025年7月31日		次年度の 取組内容
①	電力使用量の削減 (CO2 排出量削減)	● 空調設定温度の励行 ● 節電 ● クールビズ・ウォームビズの徹底	目標 6,874 kg-CO ₂ 実績 6,351 kg-CO ₂ 達成率 108% (○)	電力会社の変更や節電意識の浸透の結果だと思う。	● 更なる節電意識を高める為、新たな節電方法を模索する。
②	ガソリン使用量の削減 (CO2 排出量削減)	● アイドリングストップの実施 ● 急発進・急停車をしない ● エコドライブの徹底 ● エアコンの使用を抑える ● タイヤの空気圧の確認	目標 38,651 kg-CO ₂ 実績 38,605 kg-CO ₂ 達成率 100% (○)	エコドライブなど、ガソリン使用量の削減意識が浸透した結果だと思う。	● 各車種の燃費を把握し、現場距離に応じた車の選定を行う様にする。
③	軽油使用量の削減 (CO2 排出量削減)	● 作業の停止時はエンジンを切る ● エアコンの使用を抑える ● 低騒音・低振動型機械の使用 ● 過剰な負担をかけない ● 作業効率を見直す	目標 24,525 kg-CO ₂ 実績 24,350 kg-CO ₂ 達成率 100% (○)	重機を使用する現場稼働数が少なかった為、達成できたと思う。	● 重機稼働数や作業効率に影響を受けない運用方法を模索する。
④	事務所の水使用量の削減	● 節水意識の向上 ● 帰社時、締栓の徹底、漏水の確認	目標 186 実績 179 達成率 104% (○)	節水意識が浸透した結果だと思う。	● 当面活動を継続する。
⑤	産業廃棄物排出量の リサイクル率 (コンガラ・アスガラを除く)	● 産業廃棄物管理徹底 ● 建設現場での分別強化	目標 25.0% 実績 23.3% 達成率 93% (×)	鉄くずの木くず廃プラスチックの再利用を行ったが全般的に混合廃棄物の母数が大きかった影響を受けたと思う。	● 引き続き活動を継続するとともに、リサイクル分別の種類について検討を行う。
⑥	一般廃棄物排出量の削減	● 事務所で排出されるゴミの削減意識 ● 印刷時、裏紙を積極的に使用する。 ● 印刷プレビューの徹底	目標 0.460 実績 0.457 達成率 100% (○)	ゴミの削減意識向上や紙の削減(PDFなどの電子資料)を使用した結果だと思う。	● 当面活動を継続して定着させる
⑦	環境に配慮した技術の 導入、提案、施工	● 現場周辺の環境に留意する。 ● 環境配慮型の重機を用いる。	目標 年3件 実績 年4件 達成率 100% (○)	現場にて ①橋脚塗膜剥離剤の使用②エコパリアの使用③QRコード点検表の使用 などをを行った。	● 当面活動を継続して定着させると共に他の方法も模索する。
⑧	地域社会との協調	● 地域清掃等の社会貢献活動	目標 年3回 実績 年4回 達成率 100% (○)	地域の河川やダム周辺の清掃活動を行った。また国際緊急医療援助活動等に寄付を行った。	● 当面活動を継続して定着させる

(注 ○ 目標達成 × 目標未達成)

7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される環境関連法規の順守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに順守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

順守評価日 2025年8月20日

No.	適用される法律名	順守すべき内容	順守評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A, B2, D, E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	順守 順守 順守
2	騒音規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (騒音) 85 dBの遵守	順守
3	振動規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (振動) 75 dBの遵守	順守
4	兵庫県環境の保全と創造に関する法律	特定工作物解体工事の届出	該当無
5	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届出 再資源化の完了報告	順守
6	自治体との災害協定	災害発生時に応援派遣する	要請無
7	消防法	消火器の設置	順守
8	フロン排出抑制法	簡易点検の実施 簡易点検記録簿の保管	順守 順守

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

本年度に関しましては産業廃棄物リサイクル率の目標が未達成に終わりました。その他の項目に関しましては結果的には達成したものの達成率が100%の項目も多く、全般的にはギリギリでの推移だったと思います。今までは1年ごとに若干ではありますが目標数値を厳しくしてきましたが、ある程度の頭打ち感 (成熟感) もあることから、来年度を最後に一旦は目標数値を据え置き、今一度、環境活動を丁寧に行う事で精度を上げる様に、職員一丸となって取り組んでいきたいを思います。

環境経営方針、実施体制に変更なし
環境目標 変更なし

見直し日 (9月8日)
株式会社 村田組
代表取締役 村田 燐男